

徳島県環境白書の刊行に当たって

本県は、豊かな流れと美しい景観を誇る「吉野川」をはじめ、雄大な山岳地形を有する「剣山」、変化に富んだ美しい海岸線からなる「室戸阿南海岸国定公園」など、多様な自然環境に恵まれており、このような「自然豊かな環境」は、未来に引き継いでいくべき「かけがえのない郷土の宝」であります。

しかしながら、こうした環境を取り巻く状況を見てみますと、廃棄物の適正処理や大気・水環境の保全といった私たちの日常生活に密着した身近なものから、「東日本大震災以降のエネルギー問題」をはじめ、「がれき処理など災害時における対応」や、「外来生物の侵入や生物多様性の損失」、さらには、汚染物質が国を超えて運ばれてくる、いわゆる「越境汚染」の問題といった全国規模に至るものまで、様々な課題に直面しており、態様の複雑・多様化がますます進行しております。

東日本大震災を契機に、多くの県民が自然の強大な力を目の当たりにし、人間の力の限界を知るとともに、「エネルギーは無尽蔵ではないこと」を改めて認識しました。私たちは、大量の資源やエネルギーを消費してきたこれまでの社会システムのあり方、自然との関わり方、また、身の回りの環境の安全・安心などについて、ライフスタイルを環境に優しいものへと転換していく必要があります。

また、国においては、「新たなエネルギー政策」や「電力システム改革」の動きが本格化するなど、まさに環境を取り巻く情勢が大きく変化しつつあり、本県の環境にとっても大きな「ターニングポイント」を迎えているところであります。

こうしたことから、美しく豊かな「とくしまの自然」を活かしながら、豊かな生物多様性の恵みを保全し、その持続可能な利用を図るため、昨年10月、「生物多様性とくしま戦略」を策定するとともに、自然エネルギーの導入や活用、省エネ社会の構築に向けたライフスタイルの転換など、変えていくべきものは大胆に変革していくといった「徳島からの環境イノベーション」を進めるため、昨年12月、「第2次徳島県環境基本計画」を策定したところです。

これらをはじめとする様々な取組みを効果的に展開し、本県が地球環境に優しい社会づくりをリードする、世界に誇る「環境首都・先進とくしま」を実現するためには、県民・事業者・民間団体の皆様の主体的な取組みが必要不可欠であります。本書を通じ、県民の皆様お一人お一人が本県の環境問題への認識を一層深められ、これまでも増して、環境の保全・創造につながる活動に取り組んでいただければ幸いです。

平成26年3月

徳島県知事 飯泉 嘉門